

NETIS

登録番号

KT-030028

廃棄物静的圧縮工法

リフューズプレス工法

REFUSE PRESS METHOD



リフューズプレス協会
Refuse Press Association

横浜市南本牧廃棄物最終処分場における施工

リフューズプレス工法の概要

リフューズプレス工法は、廃棄物層内に $\phi 700\sim 1500\text{mm}$ のリフューズプレススクリー（特殊なスクリーオーガー）を回転・圧入して、廃棄物を横方向（孔壁）に圧縮させます。さらに上部から表層の廃棄物、または焼却場から運搬した焼却灰を孔内に投入して廃棄物を再締固めして減容化を図ります。地盤の締固め状態や廃棄物の種類にもよりますが、廃棄物層厚の10~25%の減容化が可能です。

リフューズプレス工法の特徴

- 1 スクリューの回転・圧入は電動又は油圧駆動によるため、**振動・騒音は殆ど問題ありません。**
- 2 静的圧縮工法のため、遮水シートなどの**既設構造物に影響を及ぼしません。**
- 3 貫入体の回転・圧入には、高トルクの駆動装置を使用するため、**粗大ゴミが混入していても適用可能です。**
- 4 廃棄物の圧縮に特別の材料を使用しないため**無公害です。**



リフューズプレス工法の主要機械

パイルドライバタイプ



大型バックホウタイプ

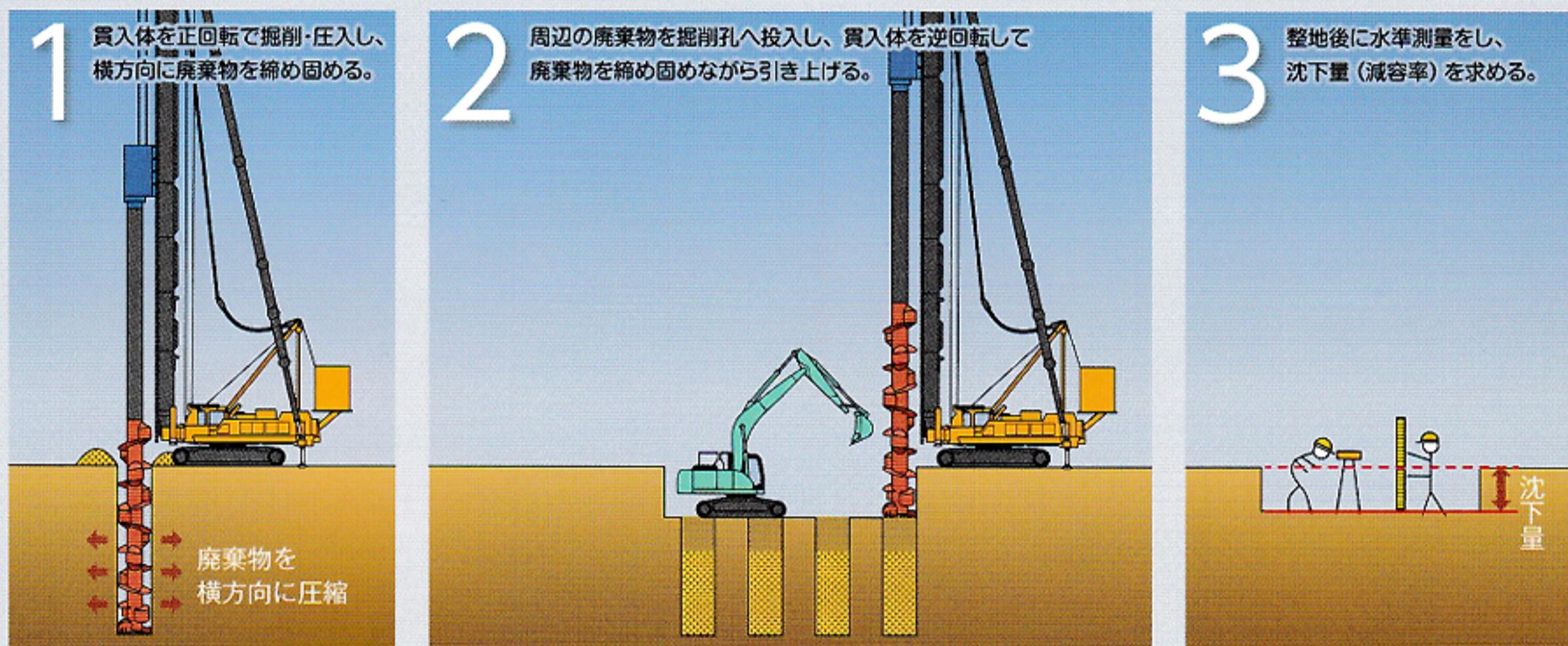


リフューズプレス工法の**主要機器**

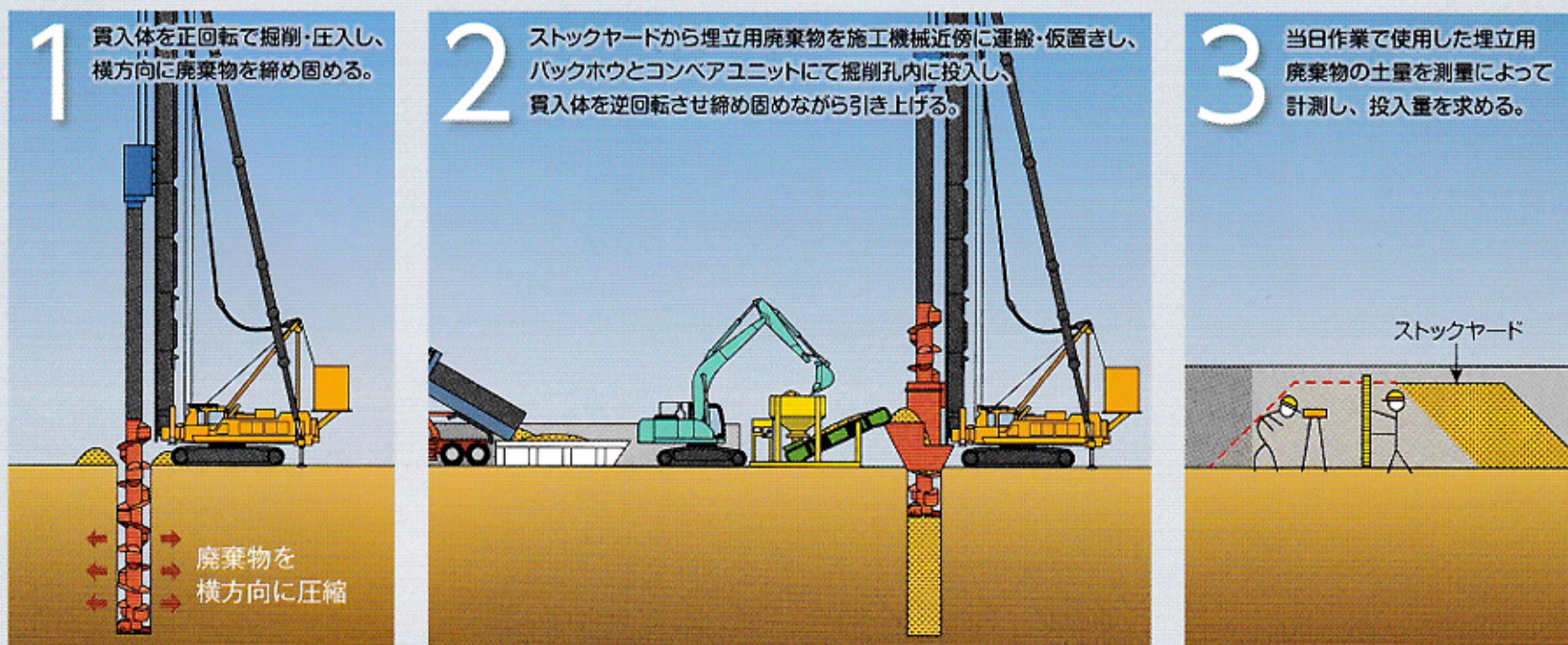


リフューズプレス工法の**施工の流れ**

一般的な施工事例



南本牧の施工事例



リフューズプレス工法の 施工実績

現場名	十和田清掃組合 (実証実験)	大牟田市 (実証実験)	菊池トラック 最終処分場	共栄産業 産廃処分場	南本牧処分場 (試験調査)	横浜市南本牧 最終処分場
施工面積	12㎡	48㎡	1,131㎡	2,537㎡	87㎡	29,000㎡
掘削深度	5m 10m	5m 10m	5m	4～8m (平均6m)	15m 10m	13m
スクリー径	φ 850mm	φ 1500mm φ 850mm	φ 850mm	φ 850mm	φ 800	φ 900
沈下量	0.60m —	0.51m 1.24m	1.17m	1.41m	1.45～1.87m 1.23～1.52m	圧縮量 63,620㎡
孔内減容率	40.0% 40.0%	25.0% 42.7%	—	—	35.2～40.1% 41.8～55.9%	—
敷地減容率	— 12.0%	10.1% 12.4%	23.4%	23.5%	12.3～13.0% 7.8～15.2%	16.9%

孔内減容率：形成された掘削孔（空隙）深さと掘削長の比

敷地減容率：平均地表面沈下量と掘削長の比

リフューズプレス工法の 施工事例

<p>菊池トラックでの事例 (青森県)</p>  <p>沈下量 1.17m 減容率 23.4%</p>	<p>共栄産業での事例 (青森県)</p>  <p>沈下量 1.41m 減容率 23.5%</p>
<p>大牟田市での事例 (福岡県)</p>  <p>沈下量 1.35m 減容率 13.5%</p>	<p>南本牧での事例 (横浜市)</p>  <p>圧縮量 63000㎡ 減容率 16.9%</p>

参考文献：

RP (リフューズプレス) 工法による最終処分場の延命化実証実験。土木学会第58 回年次学術講演会論文集, pp.293-294、

RP 工法 (埋立廃棄物静的圧縮減容化工法) による埋立廃棄物安定化促進実験。第18 回廃棄物学会研究発表会講演論文集, pp.867-869

 **リフューズプレス協会**
Refuse Press Association

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町6-84-2
三井生命横浜桜木町ビル2F 榊サンワールド内
TEL 045-305-6860 / FAX 045-305-6861
E-mail info@refuse-press.com
URL <http://refuse-press.com/>